

ひろげる
つなぐ
かえる

市民活動・ ボランティア ニュース

2009
8

発行 / みえ県民交流センター指定管理者
みえNPOセンター・ワーカーズコープ
514-0009 津市羽所町 700 番地アスト津 3 階
Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971
E-mail center@mienpo.net
ホームページ <http://www.mienpo.net/center/>

2009年7月25日発行
通巻128号



三重県内の市民活動・ボランティア団体の分布をイメージしたものです。
【出典:当センターHP Mなび】

夏休み。子どもたちはプール遊びに忙しいこと
でしょう。ちょっと大人の学生諸君はアルバイトか、
それとも課題研究か…。ちょっと待って。NPOで
インターンシップ、というのもありますよ。

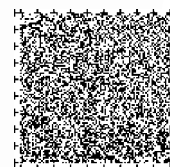
NPOはいつも、一緒に活動してくれる人を求め
ています。

日頃は遠くから眺めているだけのNPOも、長い
休みを機会にその中身を体験してみてもいいかな。
きっと歓迎されると思いますよ。

企業の会社訪問のような仕組みは確立されてい
ませんが、学生諸君がその気になればNPOは快く
受け入れてくれることでしょう。

この夏、あなたも一度、NPOのこと、知ってみま
せんか。

右の様子はSPコードと呼ばれる
バーコードで、専用の読取機で
音声聞くことができます。



三重県NPOグループからお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ

- 認証申請団体(1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地
 - (1)未来の子ども達へ(2)大桑里美(3)松阪市田村町410番地1
 - (1)チャイルドラインMIEネットワーク(2)田部知代子(3)津市大里窪田町2709番地の1
 - (1)みんなのクラブネット三重(2)大平利久(3)いなべ市藤原町川合790番地
 - (1)パブリック(2)山田義郎(3)四日市市石塚町4番23号 レンテ石塚B棟202号
 - (1)エブリー(2)伊藤賢司(3)鈴鹿市江島本町26番11号
- (平成21年6月10日～平成21年7月9日申請分)

成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- 三重高虎ベースボールクラブ(平成21年6月17日)
 - 医療・福祉就職サポートセンター(平成21年6月25日)
 - 赤須賀まちづくり推進協会(平成21年6月26日)
- (平成21年6月10日～平成21年7月9日届出分)

みえ市民活動 ボランティアセンター からお知らせ

中間支援組織担当者ネットワーク交流会 ～顔の見えるつながりを作りませんか？～

中間支援、NPO支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合って、意見交換する場です。隔月で協働をテーマに勉強会も開催。いずれも無料、会場はみえ県民交流センター交流スペースです。

- 【協働勉強会】●とき／8月4日(火)13:30～16:00
- 【交流会】●とき／9月9日(水)13:30～16:00
- 問い合わせ先／みえNPOセンター・ワーカーズコープ
- Tel.059-222-5995

イベントスケジュール

2009年度 ピア・カウンセラー養成講座プログラム

- とき／8月2・9・23・30日、9月6日(計5回 すべて日曜) 13:00～17:00
- ところ／アスト津4階または5階(津駅東口隣接ビル)
- 参加費／無料
- 内容／地域で暮らす障害者を同じ障害者の立場から、相談に応じるピア・カウンセラーを養成する講座を開催します。ピア(Peer)とは「仲間」という意味です。障害のある私たちが、障害のある人の思いを聞き、思いを受け止めていくカウンセリングで、相談に応じるのがピア・カウンセラーです。講師は畠中忠(自立生活センター・ARCH)、木本淳也(四日市市在住の自立生活者)、松田慎二(NPO法人ピアサポートみえ理事長)ほか。
- 9月20日(日)13:00からは、一般参加歓迎の「ピア・カウンセリング公開講座」を開催。
- 募集人数／身体障害当事者10人 ●応募締切／7月31日(金)
- 主催・問い合わせ先／(特活)ピアサポートみえ
- 514-0027 津市大門7-15 津市市民活動センター内
- Tel.&Fax.059-213-9577 E-mail peershinji@yahoo.co.jp

国際理解教育研修会

多文化共生の教育をどう進めるか

- とき／8月6日(木)13:00～16:00
- ところ／三重県人権センター ●参加費／無料
- (津市一身田大古曾693番地 Tel.059-233-5501)
- 内容／日頃から外国人児童・生徒に接している学校の先生が

現場で発見したことや考えたことを発表し、その後先生と参加者で自由な意見交流を行います。

- 募集人数／先着50人
- 申込方法／E-mail、Fax、電話
- 申込・問い合わせ先／三重県生活・文化国際室(担当:太田)
- Tel.059-222-5974 Fax.059-222-5984
- E-mail kokusai@pref.mie.jp
- JICA三重県デスク(担当:山田) Tel.059-223-5006



NPO法人 輪りサイクル思考

親子でリサイクル体験とゲーム遊び

- とき／8月7日(金)10:00～15:00
- ところ／桑名市リサイクル推進施設 クルクル工房 (桑名市江場777-1) ●参加費／500円(材料費込)
- 内容／桑名市のゴミゼロ化を目指してチャレンジしているNPO法人が企画。実際にリサイクルを体験することで、日常気がつかない面白い発見をしましょう。
- 持ち物／弁当 ●募集人数／親子15組
- 問い合わせ先／桑名市リサイクル推進施設 クルクル工房
- Tel.0594-23-0021 E-mail warecycle@mie.email.ne.jp
- ホームページ <http://www.mmjp.or.jp/wa-recycle/>

「^{うま}美し国おこし・三重」ファシリテーション研修

- とき／【第1回ステップ1】8月8・9日(土・日) 津市市民活動センター
- 【第2回ステップ1】8月29・30日(土・日)じばさん三重
- 【第3回ステップ1】9月26・27日(土・日)伊勢市観光文化会館
- 時間は全て土曜は10:00～20:00、日曜は10:00～17:00
- 内容／ファシリテーションとは会議などでみんなが気持ちを伝えあい、一緒に楽しく行動できるよう「場づくり」をする技術です。この研修では、ファシリテーションの基本、実践、自分らしいファシリテーションを学びます。詳細はホームページを。
- 募集人数／各回20人
- ※原則として、ステップ1～3を通して受講できる方に限る。
- ※受講生の方には、今後の「美し国おこし・三重」の様々な取組の場でご協力をお願いします。
- 応募締切／第1回7月31日(金)、第2回8月21日(金)、第3回9月17日(木)いずれも17:00必着
- 申込・問い合わせ先／「美し国おこし・三重」実行委員会事務局 (三重県政策部「美し国おこし・三重」推進室内)
- 514-8570 津市広明町13番地 三重県庁2階
- Tel.059-224-2644 Fax.059-224-2075
- E-mail umashi@pref.mie.jp
- ホームページ <http://www.pref.mie.jp/UMASHI/HP/>

講演会・シンポジウム

「子どもと親の育ちを応援するファミリーソーシャルワーク」

- とき／8月9日(日)12:30受付 13:00～17:10
- ところ／ホテルグリーンパーク津(津駅東口隣接ビル)
- 参加費／無料
- 内容／講演1は、東洋大学教授・高橋重宏さんによる「ファミリーソーシャルワークとは」一子ども家庭福祉専門職の役割一。講演2は、関西学院大学教授・芝野松次郎さんによる「次世代育成支援の行方」一次世代育成支援行動計画地域協議会の役割一。その後、シンポジウムを開催。

●募集人数／先着100人 ●申込方法／電話、E-mail
●申込・問い合わせ先／三重中京大学短期大学部 こども学科
／食物栄養学科 学び直しプログラム担当センター(担当:木村、橋本) Tel.0598-20-2755
E-mail manabi@mie-chukyo-u.ac.jp
ホームページ <http://manabi.mie-chukyo-u.ac.jp/>

みえ若者自立支援フォーラム

●とき／8月20日(木)13:20～16:15
●ところ／アスト津4階アストホール ●参加費／無料
●内容／梅花女子大学現代人間学部教授の太田 仁さんの講演「安心・出会い・感動そして社会へ身近な愛が社会への意欲を支える」。その後、パネルディスカッション「若者自立支援一つながら支える たすけ合う」を開催。対象は自立に悩む34歳くらいまでの方。保護者、若者自立支援に関心のある方です。
●応募締切／8月17日(月)
●申込・問い合わせ先／三重県若者自立支援センター
Tel.059-246-1212 Fax.059-222-3301
E-mail wakamono@pref.mie.jp

第22回「自閉症の理解を求めて」講演会

●とき／8月21日(金)13:00開場 ●参加費／無料
●ところ／三重県総合文化センター小ホール
●内容／特別支援教育ネット代表・元宮川医療少年院院長の小栗正幸さんによる講演。演題は「発達障害のある人への社会性指導～約束履行支援とその応用～」
●募集人数／320人(要申込・定員になり次第締め切り)
●主催・申込・問い合わせ先／三重県自閉症協会(事務局:横山美香) Tel.&Fax.059-234-9477 Tel.090-8733-0609

キッズシアター「チェブラーシカ」

●とき／8月22・23日(土・日)
11:00～12:15、13:30～14:45
(開場は開演20分前。駐車は開場時間以降にお願いします)
●ところ／伊勢進富座
●参加費／前売 大人1200円、子ども(3歳～中学生)800円、親子ペア券1800円(親子ペア券以外は当日券+200円で販売)
●内容／青春キネマ館&キッズシアター上映実行委員会は子どもや高齢者に映画館で映画をみってもらうことによって、文化振興や映画館を核としたまちづくりを行っています。「チェブラーシカ」はロシアで最も愛されている人形アニメ。大きな耳がチャームポイントの不思議な動物、チェブラーシカがわにのゲーナと楽しい冒険を繰り広げる、大人も子どもも楽しめる作品です。8月24日(月)11:00～12:15はハンディキャップ上映会を開催します。詳しくはお問い合わせください。
●申込方法／8月21日まで電話、E-mailで受付
●問い合わせ先／青春キネマ館&キッズシアター上映実行委員会 Tel.&Fax.0596-23-0839(担当:山口)
E-mail HQIO1731@nifty.ne.jp



夢のバリアフリーミュージカル vol.4

人情集団An-Pon-Tan 『ゆめのたね～君と一緒に～』

●とき・ところ／8月9日(日)伊賀市文化会館
8月23日(日)松阪市民文化会館

9月6日(日)桑名市民会館大ホール
10月17日(土)、18日(日)鈴鹿市民会館
13:00開場 14:00開演
但し、鈴鹿市17日のみ17:00開場 18:00開演
●参加費／前売 一般1000円・中学生以下800円、当日 一般1200円・中学生以下1000円
●内容／演劇を愛するあまり、5年前に小さな劇団を作ったアンとポンとタン。「NYのブロードウェイに立ちたい」という、とてつもなく大きな夢を持った3人の目の前に「ゆめのたね」と「ゆめのたね配達人」が現れ…。
●問い合わせ先／An-Pon-Tan事務局
Tel.090-7916-8552
ホームページ <http://www.5e.biglobe.ne.jp/~anpontan/>



親と子のための音楽あそびひろば

●とき／8月29日(土)10:00～12:00
●ところ／三重県総合文化センター
(津市一身田上津部田1234)
●参加費／大人500円、子ども無料
●内容／第一部は親子で楽しむふれあいあそび。第二部は歌の世界を探検しよう!!出演は、あそび作家・イラストレーターの浦中こういちさん、高田短大教員の福西朋子さん、高田短大講師の木下和美さんほか。
●募集人数／就学前親子30組程度(要申込)
●申込方法／FaxまたはE-mail。講座日、親子氏名、お子さんの年齢、連絡先(電話番号)を明記のこと。
●主催・問い合わせ先／高田短期大学育児文化研究センター
Tel.059-232-2310 Fax.059-232-6317
E-mail ikubun@takada-jc.ac.jp

夏休みこども環境体験学習

「エアドームプラネタリウムで星空体験」

●とき／8月29日(土)13:30～15:00
●ところ／アスト津(津駅東口)3階 みえ県民交流センター
●参加費／ひとり100円
●内容／エアドームをみんなでふくらませ、移動式のプラネタリウムで空の星を見て、星の勉強をし、地球の環境問題も一緒に考えましょう。講師は、三重県環境学習情報センターの水谷雅寛さん。対象は小学校4年生～6年生です。
●募集人数／子ども20人(保護者同伴・要事前申込・先着順)
●申込・問い合わせ先／みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971
E-mail center@mienpo.net



ミラクルストーリー「あなたが生まれるまで」

●とき・ところ／9月5日(土)13:00～19:00～
四日市市勤労者・市民交流センター
9月6日(日)13:00～ 四日市市楠ふれあいセンター「ゆめの木」
●参加費／2500円
●内容／くわえ・ぱべっとステージ&人形芝居ひつじのカンパ

二一合同企画の人形劇。お腹の子どもの成長はとっても不思議。その命の不思議と大切さをコミカルでファンタジックな作品にしました。

●問い合わせ先／子育て広場・ドロッピン
Tel.059-363-3728

●主催／子ども文化NET



よびかけ ● 報 告

『ネクストドア』メールマガジン登録者募集!

NPOやまちづくり活動などに役立つ講座の「最新情報・お得な情報」をお届けするメルマガ登録者を募集中。学びの講座で、ご自身の魅力を再発見してください。登録は無料です。

●申込方法／(1)検索サイトで、「Mブリッジ ネクスト」と検索(2)「ネクストドア」のホームページが表示(3)最下部の「メールマガジン登録」にアドレスを入力(4)完了。

●運営・問い合わせ先／(特活)Mブリッジ(担当:米山)

Tel.0598-23-8400 E-mail info@m-bridge.jp

ホームページ <http://www.m-bridge.jp/nextdoor/>

●主催／松阪市

三重ボランティア基金

イメージキャラクターとその愛称の募集

三重ボランティア基金の啓発を進める一環として、県民から親しまれるイメージキャラクターとその愛称を募集します。

●応募締切／9月15日(火)消印有効

●応募方法／A4判白紙に以下をそれぞれ記載の上、郵送またはE-mailで送付。

(1)キャラクターの図案、愛称

(2)イメージキャラクターの作品の説明(100文字以内)。住所、氏名(ふりがな)、年齢、連絡先(電話番号等)

・紙原稿・データ原稿については着色した状態で応募。

・データを郵送して応募する場合、CD-R等のメディアに記録。必ず見本出力を添付すること。

・データの場合、イラストはJPEGまたはPDF形式で作成。愛称及び説明等の応募記載事項についてはワード形式で作成。

●応募資格／三重県在住、もしくは三重県出身。その他通勤・通学等で三重県に縁のある方。

●申込・問い合わせ先／三重ボランティア基金事務局(担当:平井、蒔田) 514-0003 津市桜橋2丁目131 三重県社会福祉会館2階 Tel.059-227-9994

E-mail vkikin@miewel.or.jp

助成金 情 報

共生(ともいき)・地域文化大賞

【表彰・助成部門】

●受付締切／8月7日(金)

●助成の対象となる団体／

●対象となる活動／共生社会を実現する集団的活動。地域独自の主体的な文化への継続的な取り組み。市民が担い手となって「共生」の地域作りをめざすすべての活動を大賞として、活動ジャンルは問いません。

●賞／表彰部門…共生・地域文化大賞1団体(賞状・活動奨励金150万円)、共生優秀賞3団体(賞状・活動奨励金50万円)、共生奨励賞5団体(賞状・活動奨励金10万円) 助成部門…共生事業助成金(1件につき5～50万円、総額150万円)

【アイデア・企画部門】

●受付締切／9月11日(金)

●募集概要／地域文化活動を進める上で、仏教寺院と一緒に実施したいアイデア・企画を募集します。「共生」の地域づくりにつながるものであれば、内容は問いません。特に優秀なアイデア・企画については、実現に向けた支援を行います。提案のみでも結構です。

●賞／一般の部…共生アイデア大賞1件(賞金10万円)、共生優秀アイデア賞2件(賞金5万円)、共生アイデア賞20件(賞金2万円)

中学生以下の部…共生のタマゴ大賞1件(1万円分の図書カードと記念品)、共生のタマゴ賞30件(5千円分の図書カード)

●応募方法／各部門、所定の応募申込書を下記まで送付。【アイデア・企画部門】中学生以下の部はハガキでの応募も可。

●問い合わせ先／共生・地域文化大賞運営事務局 600-8104 京都市下区五条通高倉西入万寿寺町143 いづつビル6階 (特活)きょうとNPOセンター内 Tel.075-353-6292 Fax.075-353-7689 E-mail info@tomoiki.jp ホームページ <http://tomoiki.jp>

平成21年度「多様なテーマの森づくり企画立案支援事業」森づくり企画第2次公募

●受付締切／8月14日(金)必着

●対象となる団体／「国民参加の森林づくり」に係る活動を行うNPO等(法人格の有無は不問。定款或いは規約がある組織。ネットワーク組織等も対象とします)

9月12～13日(土～日)に開催予定の「説明会・集合研修」に、事業実施担当者等が出席できる団体

●対象となる企画／これまで森づくりと関わりの乏しかった企業・団体等が連携・協働することで新たな都市住民の参加が促進されるような、斬新で、多様なテーマの「森づくり企画」を募集します。

●対象事業の期間／平成22年3月15日まで

●助成の額／助成対象経費総額の50%以内で、概ね50～100万円

●問い合わせ先／(社)国土緑化推進機構 政策企画部(担当:箕輪・木俣)

102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 砂防会館内

Tel.03-3262-8437 Fax.03-3264-3974 E-mail comis@green.or.jp

ホームページ <http://www.green.or.jp/>

緑の環境デザイン賞

●受付締切／8月21日(金)

●対象となる団体／地方の公益法人、特定非営利活動を行う団体、学校、商店組合、町内会、事業所等の法人や任意団体、地方公共団体、公団・事業団・公社、区画整理や再開発を行う組合等の団体及びこれらと同等以上の団体であること。

●対象となる場所など／公開性があり、緑化することにより景観形成や環境向上に寄与する場所であること。プランの実現のための土地の手当てに見込みがあること。

●賞／国土交通大臣賞(2点以内)、緑化大賞(数点)

受賞作品に対して、副賞として800万円(消費税込)以内の緑化工事を助成。

●応募方法／所定の応募用紙と緑化プラン平面図及びその他の資料を添えて、下記まで郵送または持参。

●問い合わせ先／「緑の環境デザイン賞」事務局 102-0082 東京都千代田区一番町10番地 一番町ウエストビル5階 (財)都市緑化基金内

Tel.03-5275-2294 Fax.03-5275-2331 E-mail midori-info@urban-green.or.jp ホームページ <http://www.urban-green.or.jp>

エイブル・アート・アワード

●受付締切／8月31日(月)必着

【制作支援の部】

●助成の対象となる団体／障害のある人たちの絵画や立体造形などの創作活動を行っているグループ。

※障害のある人たちだけのグループである必要はありません。

●支援の額／総額50万円(1件あたり10万円、5グループ)

【展覧会支援の部】

●助成の対象となる個人・団体／障害のある人で、絵画や立体造形などの創作活動を行っている作家。個人・グループを問いません。

●支援の内容／1個人または1グループの展覧会を開催します。

会場：ガレリア・グラフィカbis(東京・銀座) 会期：2009年12月(6日間)

・展覧会開催に関する以下の資金を負担します。

ギャラリーの借り上げ費用。展覧会の企画全般(作品の選定・額装・展示などのご提案)を行うコーディネーターの派遣費用。案内ハガキの作成費用、エイブル・アート・ジャパン関係者へのPR、マスコミへのPR

展覧会開催に関する人的支援(搬入・撤去作業、会期中のスタッフの配置)
●応募方法／応募用紙はホームページからダウンロードするか、郵送も可能。
●問い合わせ先／エイブル・アート・ジャパン 164-0003 東京都中野区東中野4-4-1 ポレポレ坐ビル3F Tel.03-3364-2140 Fax.03-3364-5602
E-mail info@ableart.org ホームページ <http://www.ableart.org/>

(財)大和証券福祉財団ボランティア等活動助成

●受付期間／8月1日(土)～9月15日(火)消印有効

【ボランティア活動】

●助成の対象となる団体／ボランティア活動を目的とした団体・グループ。学生・若者のボランティア活動も積極的に支援します。社会福祉協議会・共同募金会などの推薦が必要。

●助成の対象となる活動／特に在宅老人、障がい児・者、児童問題などに対するボランティア。

●対象事業の期間／原則として平成22年1月～12月の活動

●助成の額／1件あたり上限30万円。総額5000万円(内500万円は災害時ボランティア活動に対する助成)

【ボランティア活動等に関する調査研究助成】

●助成の対象となる団体／研究委員会を組織すること。

●助成の対象となる研究／ボランティア活動・地域福祉に係る実践的モデル事業開発に関する研究など。

●助成の額／上限100万円。3件まで

●応募方法／所定申込書はホームページからダウンロードするか、下記まで請求。

●問い合わせ先／(財)大和証券福祉財団 事務局

104-0031 東京都中央区京橋1-2-1 大和八重洲ビル

Tel.03-5555-4640 Fax.03-5202-2014

ホームページ <http://www.daiwa-grp.jp/branding/citizen/support/dsf/>

第13回ボランティア・スピリット賞(アワード)

●受付締切／9月18日(金)必着

●対象となる個人・団体／ボランティア活動をしている個人またはグループ。

個人応募の場合、応募締切時に12歳以上18歳以下であること。

グループ応募：中高生が活動しているグループであること。

●応募内容／ボランティア活動に参加して、感じたこと、学んだことなどを応募用紙の項目に沿ってご記入ください。活動分野は問いません。

●対象事業の期間／2008年4月以降に行われた(行われている)活動。

●応募方法／ホームページの応募フォームまたは所定の応募用紙を使用。応募用紙はホームページからダウンロードするか、ホームページならびに携帯サイトから請求可能。

●問い合わせ先／ボランティア・スピリット賞事務局(応募係) 100-0014

東京都千代田区永田町2-13-10 (株)ニューズベース内 Tel.03-5501-5364

E-mail mail@vspirit.jp ホームページ <http://www.vspirit.jp/>

こころを育む総合フォーラム全国運動 子どもたちのこころを育む活動募集

●受付締切／9月30日(水)消印有効

●対象となる活動／団体または個人(活動拠点が日本国内にあること)が行う子どもたちの「こころを育む活動」で、下記「3つの工夫」のいずれかが認められること。

(1)「進める工夫」…活動の対象や目的が明確で、進め方における工夫・努力がある。

(2)「広げる工夫」…ネットワークを作り、活動を広げるための工夫・努力がある。

(3)「続ける工夫」…活動を継続するための仕組み・工夫がある。

●賞／全国大賞(団体)1件。表彰状・楯・賞金100万円。このほか、ブロック大賞(団体)全国大賞が選出されたブロックを除いた各ブロックから1件。表彰状・楯・賞金30万円ほか。

●応募方法／応募用紙はホームページからダウンロード。

●問い合わせ先／こころを育む総合フォーラム全国運動事務局 105-0001

東京都港区虎ノ門1-1-10 第2ローレルビル6階(財)パナソニック教育財団内

Tel.03-5521-6100 Fax.03-5521-6200

ホームページ <http://www.kokoro-forum.jp/>

平成21年度みえ環境活動賞

●受付締切／10月30日(金)

●応募の対象／三重県において次のような環境保全に寄与する優れた活動を3年間以上行っている個人又は団体。

(1)環境保全に関する普及啓発活動。

(2)環境負荷低減に関する活動。

(3)緑化推進や森林保全に関する活動。

(4)野生生物や自然環境の保護に関する活動。

(5)地域環境の美化に関する活動。

(6)ごみの減量化・再使用・再生利用等に関する活動。

(7)その他、知事が表彰するにふさわしいと認めた活動。

●応募方法／応募用紙は、下記ホームページからダウンロード。郵送希望者は、下記問い合わせ先へご連絡ください。

●問い合わせ先／三重県環境森林部地球温暖化対策室(担当:村井、米倉)

514-8570 津市広明町13 Tel.059-224-2316 Fax.059-224-3024

E-mail earth@pref.mie.jp

ホームページ <http://www.eco.pref.mie.jp/earth/100100/katsudoshou/>

市民活動・ボランティアニュースへのチラシ折込受け付けます

■イベント情報などのチラシ折込について

当センターでは、現在、約7000部弱のニュースを毎月送付あるいは公共機関等へ置かせていただいております。

そこで市民活動団体をはじめ、県内中間支援センター等、特定の宛先ではありますけれど、イベント情報など周知したい内容のチラシ折込を有料ですが下記のとおり受付しておりますので、ご利用ください。

●1団体1枚を基本とする(応相談)

●当該ニュースに同内容の記事が掲載されている場合は、チラシの折込は基本的に受けない(応相談)

●原則として折込作業日(指定日)に人手を1人以上派遣した場合 1枚当たり@5円

●折込作業日(指定日)に人手を派遣できない場合 1枚当たり@10円

※地域を指定される場合(ニュース発行日が毎月25日なので、発送準備の都合もあり、5日前の20日までにお申しいただくこと)

みえ県民交流センター指定管理者

みえNPOセンター・ワーカーズコープ 担当:吉島

おねがい

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことに留意のうえ、積極的なご活用を期待しています。

(1)原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月10日までにお送りください。

(2)送付はE-mail(ない方はFax)で。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

E-mail center@mienpo.net Fax.059-222-5971

転載を希望される場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえNPOセンター・ワーカーズコープ」に連絡してください。

みえぎんNPOローン

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資!

対象:三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(担当:松川)まで

URL: <http://www.miebank.co.jp>



三重銀行

〈広告〉 5

株式会社等の各種法人設立から許認可手続まで

NPO・社団法人設立手続

事業報告、各種変更届等の作成もお手伝いします。

フリーダイヤル

法

務

よ

い

よ

0120-406-414

奥島要人行政書士事務所(本町総合事務所L.C内)

三重県津市本町14-18 URL www.e-houmu.info

〈広告〉

基本理念は「助け合い」

……市民福祉ネットワークみえ(以下、「福祉ネット」と略)の活動主旨は？

医療・福祉の分け隔てなく様々な事業所や団体が加入しているネットワークです。情報を共有する一方、ヘルパー養成など、福祉に関する研修や講座を開催。相談業務を担うサポートセンターとして機能しています。

……福祉ネットの加入団体は？

北は桑名市(旧長島町)から南は紀北町まで。現在30団体が所属しています。福祉ネットの基本理念は「助け合い」。介護保険事業も行っていますが、あくまでも軸足は助け合いに置いていますから、それを共有できる団体しか福祉ネットには加入できません。介護保険事業だけを行っている団体やそれでお金を儲けようと思っている所は、お断りしています。

……企業として介護事業を行っている会社もたくさんありますからね。

ある会社は利用者に対して「うちはボランティアでやっているわけじゃない」と言ったらしいです。それで福祉ネットに「ケアプランを立てて欲しい」と相談が来たのですが、うちは半ばボランティア精神でやっていますから(笑)。同じ介護保険事業をするにしても、利用者に対する姿勢が違いますよね。

僕は介護保険は収益になりますから、大いに利用すべきだと思っています。でも、介護保険事業を手がけて感じたのは、プラス助け合いがなくては何も解決しないということです。

……助け合いとは具体的に言うと？

生活支援です。福祉ネットに加盟しているNPO法人伊勢まごころの場合、一時間800円で、家事や外出の手助けから、草刈り、蛍光灯や水道のパッキンの交換まで行います。蛍光灯の交換なんて電気屋さんと呼んでもしてくれませんが、僕らには何でもないことですが、おじいちゃんやおばあちゃんになると椅子に上がっても手が届かないので無理なのです。

助け合いのシステムは絶対に必要。僕は利用者さんに「電話の前に、うちの電話番号を貼っておいて」と言っています。うちは365日24時間、誰かが電話を取れるようにしてありますから、うちに電話すればなんとかなるからって。

……利用料も低額ですし。

何千円もくださいと言うわけではないですからね。利用料も支払えないような人にとっては、それぞれ自治体の出番だと思います。

……自治体に陳情に行ったりは？

三重県と話し合いをしたり、東京の議員会館に陳情に行ったりもしています。でも、僕はそういう要求もするけれど、自分たちの日々の努力の方が大事だという気がしますね。努力もせず、行政に「何もしてくれない」と言ってもダメでしょう。

福祉ネットに所属している団体は皆さん、本当によく頑張っ



デイサービス利用者さんと談笑。

いると思います。東紀州地区の団体では、山奥にある住宅まで週三回、40分かけて薬や野菜を徒歩で届けていました。道が狭くて、車では通れないからです。

……そこまでしたら利用者にも信頼されますよね。

よくも悪くも、心の中にまで入り込むというか。利用者さんも何でも相談してくれるし…。真の信頼関係が生まれてくるから、人も辞めていかないのだと思います。独居のおばあちゃんに両手を合わせて「ありがとう」と言われたら…。それはもう、お金には代えられない、何とも言えない気分になりますよ。

……事業経営的にはどうですか？

今のところ、福祉ネット加盟団体で経営が苦しいという話は聞いていません。ただ、介護保険が始まったことで、助け合いの利用者は減ってきたかなと思います。NPO法人伊勢まごころの場合、以前は750名いた会員が、今は150名ぐらいになりました。この原因は、助け合いを利用していた方が、要支援者として介護保険が利用できるようになったことです。全体的な利用者は減っていませんが、助け合いを利用する人は減っています。痛し痒しですね。助け合いだと1時間800円。介護保険を利用すれば120円。こちらとしても「介護保険の方が安いよ」とアドバイスしますからね。

でも、企業の介護保険を利用するより、福祉ネット加盟団体を使ってもらった方がいいと思うな。介護保険部分は同じでも、保険外のサービスを嫌がらずにやってもらえます。

……加盟団体は増えていますか？

僕の指導力が足りないのでしょうか(笑)。助け合い。こんな便利で、心強いものを理念にしているのに、どうして皆さん入ってこないのかな。あるいは、もっといろんな土地でできないのかなと思います。

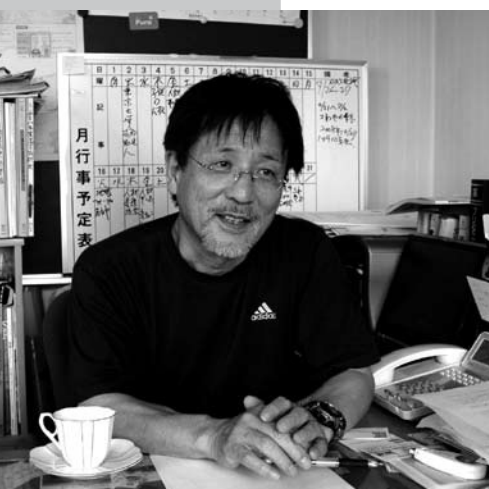
一つの団体で対応できる人数は限られています。大々的に宣伝をしても、全てを受け入れられないのが現実です。だからこそ、この方法をもっと広げたいですね。どの町にいても福祉ネットに加盟している団体がある。一つの町にいくつあってもいいものですしね。

……仕事に使命感があるでしょう？

使命感と、多少の正義感がないとやっていられないでしょう。それに、僕はある意味、自分のためにやっているのかと思うこともあります。だって、明日は我が身ですからね。

福祉有償運送研修を社協と協働で

……福祉ネット全体で手がけた事業は？



福祉有償運送を三重県中に広げたことと、ドライバーの研修を三重県社会福祉協議会(以後、「県社協」と略)と協働で行っています。

福祉有償運送を始めるにはまず、自治体とNPO、利用者が集まって運営協議会を開催しますが、その協議会すらできていない県が日本にはまだあります。それを考えても、福祉有償運送が県内中に広がっている所は、全国的にも珍しい。これも県内を網羅した福祉ネットがあったからでしょう。

……問題はありませんでしたか？

初めはタクシー会社などから営業妨害になると言われました。でも、利用者の層が全然違いますからね。福祉有償運送の場合、料金はタクシーの半分程度ですが、移送できるのは移動困難者に限られています。

今、県では心身のハンディのために公共交通機関の利用が難しい人を自宅から病院や公共施設に送迎するディマンドバス(福祉予約バス)を充実させると言っていますが、僕らが相手をしているのは道路までも出てこれない人。福祉バスを増やしても、助けにはなりません。

……研修を県社協と協働するようになったのは？

福祉有償運送の研修機関として、国土交通省から認められているのは社協です。そこで社協とうちと、三重県長寿社会室に間に入ってもらい、三者で話を進めました。

うちは東京などでインストラクターの研修を受けた人材がいましたから、講師派遣や実技を担当しています。県社協は資料の保管や卒業生の管理。国の事業ですから、資料をきちんと保管しておく必要があります。このあたりは社協の得意技ですね。

……研修場所は？

松阪市で行いました。3か月に2回くらいの割合で、定員は40名です。座学が一日半。残りの半日は実技で、実際に町を走ります。ブレーキの踏み方や車椅子利用者の方のサポートなど、チェック項目がありますが、運転が上手になるための講習ではなく、安心安全のための講習です。

……社協との協働は、全国でも珍しい取り組みでは？

モデルケースでしょうね。社協と協働で事業ができるのは、事業としてヒット作だと思います。福祉有償運送に関する全国の総会で三重県の取り組みを話しましたが、「面白いことをしていますね」と国土交通

省の担当部長が言ってくれました。

社協との協働と言えば、岡山県瀬戸内市社協が社協の車を、福祉有償運送を行っている団体に無償で貸しているそうです。保険など車の経費は社協が持ち、NPO側はガソリン代を持つそうです。社協の人と話をすると「もっとNPOと社協が話し合わない」と言われるのですが、行動にも移してもらわないと(笑)。瀬戸内市のように知恵を出し合って、協力すれば、必ず解決策は出てくると思います。みんなが前向きに考えることが大事ですね。

成年後見制度への取り組み

……他に取り組んでいる事業は？

認知症や知的ハンディなどのため、判断能力が不十分と思われる方を保護し、支援する成年後見制度です。

……取り組みのきっかけは？

独居高齢者の被害者が多いから。ひどい例では何千万円単位で悪徳業者に騙されています。うちはヘルパーさんを派遣していますから、業者が来た時に居合わせたり、利用者さんから話を聞いたり、情報が得やすい。

この事件で問題なのは、被害者が被害を受けたと思っていないこと。「騙された」と言ってくれば、自治体も「これは、えらいことや!」となるのですが、被害の実数が上がってこないで、自治体も今ひとつ、力を入れていません。

あと、以前、うちを利用されていた女性の例があります。この方は二千数百万円もの財産がありました。身寄りがなくなり、在宅でお世話するのが無理な状態になった時、市役所に相談し、特別養護老人ホームに入所されました。本来なら、残った財産で高級有料老人ホームに入所することもできたのですが、判断ができないために自分のためには全く使えない。もし、この方に成年後見人が付いていたら、その方は自分のお金を自分のために使えたはずですね。

僕は成年後見制度の2割は法律の専門家がやることで、残りの8割は市民が担える部分だと考えています。福祉ネットが成年後見人となり、その監督人を県社協に願います。福祉有償運送の研修と同様に、NPOと社協の協働を狙っています。まだ、家庭裁判所と話を詰めていませんが、それが上手くいけば正式に県社協に願うつもりです。もし、実行されれば全国初でしょう。

……大西さんもますます忙しくなりそうですね。

この成年後見事業で、僕は代表を降りるつもり。もう62歳ですから、これが最後の仕事と思っています。いつまでも僕が代表に座ってはいけないうし、次の人にバトンタッチして、僕は1有償ボランティアとして活動させてもらおうかな(笑)。

【データ】

住所 三重県津市西古河町17-24
Tel.059-229-0880
Fax.059-229-4880
E-mail shukusi@juno.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www13.ocn.ne.jp/~netmie/mainpage.html>
●代表者 大西良太
●団体設立年月日 1997年12月3日
●NPO法人化年月日 2002年12月15日
●会員数 30団体
●会費 2000円(口数は自由)



福祉有償運送

ひろげる・つなぐ・かえる

みなさんに一緒に考えていただきたい課題をNPOの視点で取り上げます。

情報を開示する意味

4月以降、ご利用いただくすべての団体にデータベースの登録と情報確認の意味もあって、改めてみえ市民活動ボランティアセンターへの団体登録のお願いをしています。団体データベースは県内の市町や中間支援センター等と連携し、県内で活動している団体の情報を収集してホームページ等で提供するものです。快く応じてくださる方、前に提出しているのに、また同じことを書いて出すの？と、不満げな方など、反応もいろいろです。

提出いただく団体登録書(兼データベース登録票)の内容は、名称、代表者の氏名、法人格の有無をはじめ活動団体プロフィールとして活動分野、活動目的、活動内容／実績、会報、会費に団体設立年月日、事務所所在地、会員数、活動地域といったごく基本的な内容です。

上記項目に加えて、代表者の住所、氏名、電話番号、E-mailアドレス、URL、団体の連絡先などを「公開する」か「公開しない」か、選択できるようになっています。ところが、団体登録をしていただいた方々は、その多くが「公開しない」を選択されます。確かに、自宅を事務所として届けられた場合には、住所や電話番号は公開したくないと思うかもしれません。でも、その前に考えてみてください。

自分たちの想いや活動内容、活動報告などの情報を多くの方に知ってもらうことで、会員になってもらったり、賛助会員として支援してもらったりできるのです。いくら自分たちがよいことをしているといっても、内々だけの活動になってしまってよいのでしょうか？

市民活動団体にとって自分たちの情報を進んで開示し、「私たちはこういった理念を持ち、こういう目的で、このような対象に向けて、こういった活動を行っています」とアピールしてはじめて、支援者や賛同者を増やすきっかけとなります。

最初の団体登録の話に戻りますと、連絡先が分からない団体には誰も連絡ができません。そういう意味で団体登録というのは、単に私どもセンターをご利用いただくために登録してもらうだけでなく、自分たちの団体にとって重要な意味を持つのです。

市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】

●津市●みえ市民活動ボランティアセンター／津市市民活動センター／分部食堂／(有)デザインオフィス萩野 ●桑名市●桑名市市民活動支援センター ●いなべ市●いなべ市市民活動センター ●東員町●とういんボランティア市民活動センター ●四日市市●四日市市市民活動センター／みえチャレンジプラザ ●亀山市●亀山市市民協働センター ●鈴鹿市●市民ネットワークすずかのぶどう ●松阪市●三重中京大学／松阪市市民活動センター ●伊勢市●特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会／いせ市民活動センター ●鳥羽市●鳥羽NPOネットワークセンター・結 ●名張市●名張市立図書館／名張青年会議所／皇学館大学名張キャンパス／名張市総合福祉センター／エコリゾート赤目の森／名張市市民活動支援センター／くらしの情報センター同夢 ●伊賀市●ウィリアム・テルズ アップル まちづくりセンター／伊賀市中央公民館／伊賀市立図書館／上野青年会議所／伊賀市市民活動支援センター ●明和町●めいわ市民活動サポートセンター ●南伊勢町●南伊勢町町民文化会館 ●紀宝町●紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店／三重銀行各店／東海労働金庫各店／第三銀行各店／メディカルー光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール／三重県地域機関(各県民センター)(桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野)／三重県米町庁舎(情報公開窓口)／三重県総合医療センター／三重県立一志病院／三重県立志摩病院／三重県立こころの医療センター／斎宮歴史博物館／三重県立博物館／三重県立図書館／三重県生涯学習センター／三重県男女共同参画センター「フレンティめえ」／三重県人権センター／三重県身体障害者総合福祉センター／三重県環境学習情報センター／各市町役場

協 賛

この市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

健全・安心・貢献
東海ろうさん

JAバンク
三重県下JA／JA三重信連

re70 PRINTED WITH SOYINK™ 古紙70%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。